

普及活動情勢報告（令和4年11月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

ピーマンでの IPM 技術の向上に向けて ～天敵のリレー～



天敵を採取する様子

11月22日、JA高知市長浜支所園芸部ピーマン部会の生産者3名が、土佐町での栽培が終了した雨よけハウスから、天敵のリレーとして利用するために、天敵を採取しました。

自作の吸虫管を使って作業し、土着天敵であるクロヒョウタンカスミカメやヒメカメノコテントウを採取しました。普及所も一緒に作業し、天敵の見分け方や温存植物の利用方法等を説明しました。生産者からは、「アリとクロヒョウタンカスミカメの違いを知れた」「定期的に天敵温存植物としてソルゴーをは種したい」といった声が聞かれました。採取した天敵は部会の全戸に配布し、有効に活用する予定です。

普及所は今後もJAと連携しながら、IPM技術の向上に向けて情報提供していきます。

促成ナス栽培本格化 ～JA高知春野ナス部会現地検討会～



各ほ場の生育状況を確認

10月24日、JA高知県春野ナス部会の現地検討会が開催され、6名が参加しました。普及所からは、実際の実証ほの生育状況を見ながら、今年度試験中の新しい仕立て・整枝方法について説明を行いました。また、ナス部会の3戸で行っている環境データに基づく栽培管理改善の取組について紹介しました。取組農家からは、「換気は手動だが、温度を適正に保つために温度計を見ながら、細かな管理を行っている。」との声もありました。

今後も普及所はJAと連携し、生産者の栽培を支援していきます。

農村女性リーダー「お宅訪問」再開！ ～高知地区農村女性リーダー～



～マスクを外して
笑顔で集合写真～

コロナ禍で活動を自粛していた高知地区農村女性リーダーが、11月2日に3年ぶりとなる「お宅訪問」を開催し、10名が参加しました。高知地区でカンキツを栽培している女性リーダーのほ場を訪問し、好天のもと情報交換を行いました。

生産者からは珍しいカンキツの栽培方法や、美味しいみかんの見分け方、栽培の苦労話などについて情報提供があり、活発な質疑が行われました。参加者からは、「楽しかった。」「集まって、実際顔を見ながら情報交換をするのは大切。」との声が上がりました。

普及所では、今後も農村女性リーダーの活動を支援していきます。

農福連携の推進に向けて ～ 第1回高知市農福連携研究会の開催 ～



農福連携について協議

11月10日、高知農業改良普及所において「第1回高知市農福連携研究会(事務局:普及所)」を開催し、農業及び福祉関係機関、福祉サービス事業所から25名が参加しました(農業組織13名、福祉組織12名)。

会では、これまでの活動の共有と今後の活動計画を検討後、農福連携の推進に向けた課題について意見交換を行いました。

その結果、これまでマッチングした中でうまくいった事例だけでなく、継続できなかった事例なども情報を整理して研究会で共有することが決定しました。

普及所は、今後も研究会事務局として農業と福祉の各関係機関の連携を深め、活動を推進していきます。